

学校だより 北 陵

川西市立北陵小学校
校長 齋木 久雄

うらかな陽光の季節となりましたが、保護者の皆様には、ご健勝のこととお喜び申し上げます。お陰を持ちまして、3月16日（金）の卒業式に引き続き、本日無事に平成29年度の修了式を行うことができました。保護者の皆様方には、この1年間、本校の教育活動に深いご理解と多くのご支援を賜りました事に、学校を代表して心より厚くお礼申し上げます。次年度も、宜しくお願い致します。

さて、以下に2月16日に行われた「PとTの語る会」での校長講話の概略を記します。

（前半省略）

中学校での私の実践報告の最後に、保護者の皆様方にお伝えしたい事があります。それは、「文句が言えるのは、義務教育の間だけです」という事です。

例えばで恐縮ですが、舗装された公共の歩道を歩いていて、その歩道にデコボコがあって、つまずいて転んだら、歩道の管理者である市の道路管理課に文句を言う人があると思います。そして、市の道路管理課は、その人に対して謝罪をして早急にそのデコボコを直すと思います。しかし、山登りではどうでしょうか？ 山登りをしている時に歩く山道は、石ころだらけのデコボコ道ですが、そこでつまずいて転んでも、文句を言いに行く所がありません。

舗装された歩道のデコボコで転ぶのも、山道のデコボコで転ぶのも、転んだ原因は、基本的には本人の不注意（自己責任）だと思えます。そして、子ども達が舗装された歩道を歩けるのは、義務教育の期間だけです。義務教育を卒業すると、歩くのは舗装された歩道ではなくなります。まだ、高校や大学等の学生の間は、フラットな林道程度の道だと思えますが、社会人になると本当に険しい山道を歩かなければならなくなると思えます。

先程、お話をした中学校の例ですが、何かにつけて学校の指導に文句を言われていた方のお子さんは、中学校を卒業後に進学した高校をすぐに退学されて、その後は、本人も保護者も、大変な苦勞をされたと聞きました。

我々教師や保護者の皆さんがしなければならない事は、子どもがつまずいて転ばないように、先回りして子どもが歩く道のデコボコを直す努力をするのではなく、子ども自身がしっかりと前を向いて、デコボコにつまずいて転ばないように歩ける能力と、もしつまずいて転んでも、顔面や後頭部を強打して重傷を負ってしまうのではなく、大怪我をしない転び方であったり、転んで痛い思いをしても、またすぐに立ち上がって歩き出すことのできる力（気力・体力）を、子ども自身が身に着けるための「サポート」をする事だと思えます。

子どもは、いずれ親の元を離れて、山登りを始めます。その時に自分の体力や能力に応じて、自分に最適な登り道（ルート）を選択する能力と、仮に途中でつまずいて転んでも、自分の力で、あるいは周りの人の力を借りて立ち上がり、再び歩き始める事ができる力を身に着ける事が大切だと思えます。そして、それこそが「生きる力」だと思えます。

（途中省略）

<続いて、先日の全校朝会で子ども達に話をした「脳のしくみ」についてのお話をさせて頂いた後に>

また、林先生は、「のびのび子育て」というこの本の中で「小学生から伸ばして行ける親は、ここが違う！」の項で次のように述べられています。

子どもは脳が発達してくると、勉強に限らず「ああしなさい、こうしなさい」といった指示を嫌がるようになります。これは、「自己報酬神経群」の働きが活発になっているためです。「自己報酬神経群」は、「自分で決めたことを自分で達成したい」と考えて、「自分でやる」ことがご褒美として機能します。つまり、自主性・主体性を持った時(自分でやること)に嬉しいと感じます。その仕組みをうまく育てていくことが、この時期の課題です。

ところが親御さんの多くは、この時期に一番「勉強しなさい」「こうしないとダメ」などの先回りやダメ出しをしてしまうのです。これは「こどものため」との思いから出てくるものですが、子どもは先回りやダメ出しをされると反発し、やろうと思っていたこともやりたくなくなります。ですから、子どもの成長のためには、「自分が自らやっている」と思わせる親の工夫が必要になります。

例えば「2つの方法があるけれど、あなたはどちらにする？」「おかあさんはこうやってうまくいったけれど、あなたはどうすればいいと思う？」といった質問を投げかけ、こどもに「自分はこうする」と言わせるようにします。子どもが自分で決めることが重要なポイントです。

そのためにも、まずは子どもと一緒に親である自分も成長するという考え方を持つようにしましょう。そして、子どもの前に立って指導するのではなく、子どもの後ろに立って後押しをしていきましょう。と述べられています。

しかし、そうは言っても実際の「子育て」では、本に書いてある通りに行かない事の方が多と思います。そして、日々の子育ての中で、思い通りにいかず悪戦苦闘の日々が続いて、落ち込む事あると思います。

実は、私には娘が二人います。既に二人とも結婚して、長女は今年の4月に女の子を出産して、お爺ちゃんになりましたが、私は、決して完璧な父親ではありませんでした。長女の結婚式では、最後の花嫁のスピーチで「お父さんは、休みの日はほとんど家にいなかった」と言われました。また、次女が結婚した後に初めて里帰りをした時、母親にお婿さんの事を「自分勝手に、我がままで、思いやりがない」と愚痴をこぼした時、家内が「お父さんもそうだった」と慰めているのを聞いて、カウンターパンチを食らったような衝撃を受けました……。 (笑)

だから言うのではありませんが、親だからと言って完璧である必要はないと思います。誰でも失敗をするし欠点もあります。大切なのは、子育てに完璧を求めるのは無く、子育てを楽しむことだと思います。

最後に、初めて親になった時の「喜びと感動」を思い出して、「親であることの幸せ」をしみめながら「今」しかできない「子育て」を楽しんで下さい。とお願いして、私の話を終わらせて頂きます。

<4月の行事予定>

9日(月) 離着任式・始業式 10日(火) 第32回入学式 11日(水) 身体測定(4・5・6年) 12日(木) 2~6年給食開始、身体測定(1・2・3年) 13日(金) 地区児童会 17日(火) 全国学力・学習状況調査(6年) 18日(水) 1年生を迎える会、1年給食開始 20日(金) 朝会 23日(月) 委員会活動 24日(火) 6年校外学習 25日(水) 耳鼻科検診(1・4年) 27日(金) 参観・懇談・PTA総会